

豊平交流

今月は、愛媛・大分の交流事業をご紹介します。

「道の駅等連携事業」

大分県と愛媛県の魅力や特色を相互に知ることができるように、両県の交流市町の道の駅などがおススメする地域の特産品を、参加市町の道の駅等で相互に販売・紹介をする取組みを進めています。この機会に愛媛が誇る逸品をお楽しみください！
※ただし、取扱い状況や商品は、それぞれの道の駅等により異なります。

【参加市町（愛媛県側）】※令和3年9月現在

八幡浜市、宇和島市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町

参加市町の道の駅等の
取組み状況はこちら▶



イチ押し 愛媛の特産品を紹介します！



【八幡浜市】伊予柑ドレッシング



【西予市】和栗とはちみつの
ちっちゃいようかん



【鬼北町】卵かけ醤油



【愛南町】愛南の真鯛



【大洲市】脇川らーめん



【宇和島市】みかんジュース



【松野町】桃ジャム



【伊方町】ちりめん

愛媛県 宇和島市 商工観光課 村上さんより



宇和島は柑橘の生産量日本一！
そんな宇和島市中心部にある
道の駅「うわじま きさいや広
場」では、新鮮な柑橘を使った
100%みかんジュースがおすす
めです！
愛媛のうまいもんをお楽しみく
ださい！

愛媛県 伊方町 観光商工課 林さんより



四国最西端、日本一細長い半島
に位置する伊方町。ドライブや
E-BIKEで、各市町の観光施設を
巡りながら、宇和海で水揚げされ
た新鮮なちりめんをお楽しみくだ
さい！
美しい絶景やアクティビティも楽
しめる南予にきなはいや～！！

「愛媛・大分専用ホームページ」を開設する予定です！各市町の魅力を余すことなくお伝えしますので、お楽しみに！！

☎ 企画課 ☎585-5242

市民図書館からのお知らせ

1. 「クリスマスブックツリー」を
飾ります

無料 申込不要

市民図書館(J:COM ホルトホール大分2階)
に設置したクリスマスツリーに「おすすめの
本」を記入したカードを飾り付けましょう。
設置期間：11月26日(金)～12月26日(日)
※12月13日(月)は休館日

2. おはなしを届けるための講座

無料

●大人がともに楽しむ紙芝居 11月28日(日)
●乳幼児と楽しむ紙芝居 4年1月16日(日)
※時間は両日とも午前10時～2時間程度
場 所：J:COMホルトホール大分2階 201会議室
定 員：20人
講 師：川谷 純子 氏

3. 大人のための朗読会

無料

日 時：12月9日(木) 午後2時～3時
場 所：市民図書館2階 会議室
定 員：20人(要事前申込み)

2・3の申込み：直接または電話で、11月1日(月)
から市民図書館へ。

☎ 市民図書館 ☎576-8241

このコーナーでは、市民図書館が所蔵している
新刊を紹介します。



としょかんのきょうりゅう

鈴木まもる：作・絵
徳間書店

本が大好きな3人のきょうだいは、
図書館で大きな絵本を見つめます。
「きょうりゅうもどうぶつだ」と書か
れた表紙をめくると、なんと絵本の中
へ。恐竜に触れたり、追いかけられ
たり、驚きやスリルのある世界を一
緒に冒険してみませんか。

童謡・唱歌の美しい日本語

高橋こうじ：著
実業之日本社

誰もが一度は口ずさんだことがある
童謡や唱歌ですが、難しい言い回し
がある、意味が分からない、と思った
ことはありませんか。童謡・唱歌の
言葉の意味や奥深さを改めて知る
ことで、日本語の美しさや日本の伝
統に触れることができます。



人権・同和教育シリーズ 515

一人の人間として

わたしには、息子が一人います。す
でに成人していますが、その子が大
学生のころ、スカートをはいて帰っ
てきたときは、ただただ驚き、思わず
言ってしまった言葉が「何でそんな
服装をしているの！」でした。それから
は「何でうちの子が…」という思いだ
けが頭をよぎり、息子にそんな服装
をやめるよう話しましたが「どんな
服を着ようが自由じゃないか」と
叫んだなり、ふさぎ込んでしまいま
した。

相談する相手もなく悩んでいたあ
るとき、本屋で「性の多様性」をテ
ーマにした書籍に気付き、少し迷いま
したが購入することにしました。そ
の本には、好きになる性や心の性、そ
して服装など性表現の多様性を認め
合うことの大切さが書かれていまし
た。「性は多様なもの…」ということ
は分かりましたが、そのころには、わ
が子に何と声を掛けたいかわからな
いまま、次第に会話もなくなってい
きました。その後も、悩み続けながら、

人の生き方を考える



少しずつですが、性の多様性に関す
る本を読み、講演会にも参加するよ
うになりました。

ある講演会では、講師が経験して
きたさまざまな話、そして時間はか
かったけれど、今では理解し支えて
くれている家族や友人の話を語って
くれました。わたしは、わが子に思い
をはせながら、胸が熱くなるのを感じ
ました。

講演会後、思い切って講師を訪ね、
直接相談すると、ゆっくりとうなず
きながら、話を聞いてくれました。そ
して最後に講師の人が「わたしたち
親子もいろいろあったけれど、親か
ら『あなたがわたしの子どもである
ことは何も変わらない。やっとなん
か』に気付くことができた」と言
われたときは、本当にうれしかった
と笑顔で話してくれました。

今は、わが子としっかりと向き合い
「二人の人間としてあなたらしく生
きてほしい」と声を掛けることがで
きたなら…と考えています。

性は「男女2つにしか分けられな
い」「異性を好きになるのが当然」な
どではなく、多様なものです。大切
なのは「その人らしさ」を認めてい
くことではないでしょうか。